

導入事例

直行直帰

法令遵守

業務効率化

日新電機株式会社 様

電気機械器具の製造・販売・付帯工事

時間外に発生していた管理者の業務負担が課題。

『スリーゼロ』 + 「アルコールチェック代行サービス」の組み合わせで、
管理者の業務負担軽減と、法令順守を実現！

日新電機株式会社

<https://nissin.jp/>

会社概要

電気機械器具の製造・販売、ならびに付帯工事が主な事業。
電気の安全かつ効率的な供給に貢献する「電力・環境システム事業」、
モバイル端末など最先端機器の高性能化に対応する「ピーム・プラス
マ事業」、モノづくり技術を活かしたソリューション提案と新興国に
おける需要に対応する「装置部品ソリューション事業」を展開しています。

プラン	: シンプルプラン
導入時期	: 2023年6月
車両用途	: 現地工事、現地調整、点検・修繕、設備診断、業務時の車両利用（直行直帰含む）
管理車両	: レンタカー、リース車両

導入前に抱えていた課題について

管理者や現場の負担が大きく課題感を持っていた。

運転者と上司の間で電話等を使ってアルコール点呼を実施していましたが、現場任せでしっかり管理は出来ておらず危機感を持っていました。直行直帰や休日・早朝・夜間に業務が発生する従業員もいるため安全運転管理者の時間外対応が大きな問題になっていました。当社では平日80人程度、土日でも20人程度の出向者がいるため1人で点呼に対応することは難しく、安全運転管理者の補佐役として安全運転責任者をおくことで、多くて10数名のアルコール点呼の対応で済むようにしていますが、出発する時間は同時刻のことが多く点呼も重なることもあります。また、休日や早朝・夜間に現場に出向することも必然と対応が時間外になってしまいます。そういった課題を解決するために、アルコールの確認業務（点呼業務）を外部委託することにしました。



今後の期待

呼び出し番号の表示時間延長で使い勝手の改善を期待

アルコールチェック義務化以前より、運転日報は紙管理で運用しております。今後、費用体効果を検討する必要がありますが、運転日報のクラウド管理も検討していきたいと考えております。また、検知器によってはOCR読み取りがうまくいかないこともあるので、2024年9月に発表のあった「AI文字認識」も使っていきたいと思っています。アルコールチェック点呼代行を活用していても、点呼確認が漏れてしまうこともありますので、運転者への徹底に加え、点呼漏れ防止を促すような機能があればと思います。

導入の決め手

今後の運用も考えて対応検知器の多さが当社のニーズにマッチ。

24時間365日対応可能な「アルコールチェック点呼代行サービスとの連携ができること」に加え、当社は対象運転者の数が多いため「①月額利用料が安価で導入できる点」、
「②対応しているアルコール検知器が多い点」が決め手になり『スリーゼロ』の導入に至りました。

導入後の課題解決

アルコールチェック代行サービスも併せた活用で負担のないアルコールチェック実施を実現。

当初、課題感を抱えていた安全運転管理者の業務負担に関して、クラウド管理とアルコールチェック代行サービスの導入により、解決することができました。
併せて導入したことにより業務効率化に加え、法令対応もかなえることができています。また、24時間365日委託をしているため、点呼業務が発生する時間も可視化でき把握することもできました。検知器の交換・メンテナンスに関しては、現場管理者任せにしているため、「検知器には寿命があること」「定期的なメンテナンス・交換が必要なこと」などを徹底していければと思います。